

NBコート KABUTO - 100 (カブト100)

1. タイプ

ガラスフレーク入り変性エポキシ樹脂塗料(変性脂肪族ポリアミン硬化型)

2. 適合規格

-

3. 特長

- (1)優れた硬化乾燥性と、ガラスフレークおよび特殊芳香族オリゴマーの配合で、耐摩耗性の良好な強靱な塗膜を形成する。
 (2)優れた物理的強度・耐久性が水や腐食性物質を遮断し、長期に亘って鉄表面の防食効果を保持する。
 (3)ハイソリッドタイプで、揮発性有機化合物(VOC)量が少ない。
 (4)FDA対応品。

4. 用途

船舶カーゴホールド

5. 塗料性状

- (1)塗料比重(混合物): 1.36 (5)荷姿 : 20kg(主剤15.0kg、硬化剤 5.0kg)
 (2)引火点 : 主剤 16.4、硬化剤 7.3
 (3)発火点 : 硬化剤 418
 (4)色 : グレー(N-4, N-6), 赤錆

6. 塗装条件

- (1)雰囲気 : 温度 5 以上、湿度 85%以下
 (2)混合比 : 主剤:硬化剤 = 75:25 (重量比)
 (3)シンナー名 : NBコート F-6シンナー
 (4)塗装方法 : エアレススプレー、刷毛
 (5)エアレス塗装条件 : 二次圧 9.8MPa以上(100kg/cm²以上) グラコチップ GGO-621~729
 (6)適合下塗 : NBコート NEプライマー

7. 塗付量と膜厚

項目	標準膜厚(μm)		塗付量(g/m ²)		シンナー希釈率 (重量%)
	ドライ	ウェット	理論	標準	
エアレススプレー	125	190	255	430	0~10
刷毛	60	90	125	160	0~10

使用量は塗装方法、被塗物の形状、塗膜厚のパラツキ、気象条件、塗膜厚管理基準、素地の表面粗さ、などによって異なります。(標準塗付量: 刷毛-理論の1.3倍、エアレス-1.7倍)

8. 乾燥時間、塗装間隔、ポットライフ

		5	10	20	30
乾燥時間	指触(分)	150	100	80	60
	(125μm)硬化(時間)	24	16	6	3
塗装間隔	最短(時間)	24	24	24	24
	最長(日)	7	7	7	7
ポットライフ(時間)		4	3	2	1.5

9. 関連法表示

	主剤	硬化剤
劇物表示	-	-
労安法上有害物表示	トルエン キシレン MIBK MEK	トルエン イソプロピルアルコール
有機溶剤区分	第2種有機溶剤	第2種有機溶剤
消防法上危険物表示	引火性固体	第一石油類
樹脂・硬化剤表示	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン

製品改良のため予告なく変更することがあります。

NBコート KABUTO - 100 (ｶﾞｯﾄ100)

1. 組成

	〔 成 分 〕	〔 配合割合 〕
主 剤	エポキシ樹脂ワニス	25.0
	改質樹脂ワニス	7.5
	顔料 (体質・着色)	37.9
	添加剤	2.6
	溶剤	2.0
	計	75.0
硬化剤	ポリアミンワニス	25.0
	計	100.0% (重量)

2. 性能

品質基準 (社内確認試験)		
1) 最大付着量 (無希釈時)	375 μm (wet)	
2) 耐塩水噴霧性	塩水噴霧に耐えること	合格
3) 耐湿性	耐湿試験に耐えること	合格
4) 耐アルカリ性 (JIS K-5664)	168時間の耐アルカリ性に耐えること	合格
5) 耐酸性 (JIS K-5664)	168時間の耐酸性に耐えること	合格
6) 耐揮発油性 (JIS K-5664)	48時間の耐揮発油試験に耐えること	合格

(ここに示した性能は代表値であり、保証するものではありません)

使用上の注意

- 被塗面の油、湿気、塵埃、その他の付着物は完全に除去して下さい。
- 使用時には、主剤と硬化剤を所定量混合し、均一な状態になるまで十分に攪拌して下さい。
- NBコート F-6シンナー以外のシンナーは使用しないで下さい。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、ポットライフ内に使用してください。
- 塗装間隔が長くなると、密着不良を生じることがあるので、必ず所定期間内で塗り重ねを終了して下さい。
- なお、所定の塗装間隔を越えた場合には塗膜表面をサンドペーパー等に研磨し、清掃してから塗装を行って下さい。

注意事項

通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい

- ・ 取扱い作業は火気のない所で行い、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 塗装中、乾燥中とも換気をよくし蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、長袖作業衣等を着用して下さい。
- ・ 取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分行い、作業衣等に付着した汚れをよく落として下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗った後、又誤って飲み込んだ時は、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ・ 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
- ・ シンナー遊び、汚れ落とし等、本来の用途以外に使用しないで下さい。
- ・ 指定された以外の材料と、混合しないで下さい。

0912